

# 金竜 小地区 コミュニティ委員会

## コロナ禍の対応と現状

令和2年にコロナウイルスが感染し始め、コミュニティ活動は区民課から2月末に連絡が入りこれが活動停止の始まりでした。

それ以降、東京都感染者数の増減により活動の有無の繰り返しと、委員会の困惑が始まりました。

3月になると2年度の区主催の会議、行事等が中止となりました。委員会は、各団体の安全を考慮し委員会の行事はすべて中止を決め、その後の状況を見守ることとなりましたが、委員会には各団体からの問い合わせも入り、情報収集にも心がけていました。

その間も、月一回は運営委員での交流はかかさず行い、いつ再開しても対応できる体制を整えていました。

結果、2年度は6回の運営委員会を開くことができました。

3年度も東京都の感染者数は相変わらず増減を繰り返し、その影響で運営委員会の開催も左右されています。運営委員の意見交換会も委員長を中心に毎月行われ、総会の議案書の作成等の話し合いをしてきました。

4年度に入ると若干感染者数も減ってきて、運営委員会が行える状況になり、総会も3ヶ月遅れではありますが開くことができました。しかし、各行事は区と足並みをそろえて中止としました。

今年度に入るとコロナウイルスの対応が和らいできました。コミュニティ委員会でも総会も通常どおり実施し、コミュニティ祭りも規模を縮小した形ではありますが、実施することとしま

した。これからも、コミュニティ委員会として感染者の数推移を見極めながら運営していきます。



## コミュニティについて

コミュニティについて私なりの感想を述べます。

コミュニティは昭和50年に当時の内山区長が「地域コミュニティ醸成計画」の一つとして、コミュニティエリアを小学校単位とする考え方を導入した経緯があります。それから約50年近く経っているのですが、コミュニティについてどこかで必ず一度は耳にしたことがあると思います。聞く可能性が高いのは子供達が小学校に通っている頃ではないかと思えます。しかし、そこで興味を「持つ」「持たない」かによります。

こういった中でひとつの提案が、学校に「コミュニティ台東」を置いてもらい生徒に持ち帰ってもらうことです。町内で配布するよりも子供が持ち帰る方が、保護者が目を通す可能性が高いと思うからです。

また、ホームページの活用、充実が必要かと思えます。今は何を調べるにもインターネットが使われています。ほとんどの人がスマホを持つ時代、見やすく、理解しやすい、見る人によさしい方法で発信してみても、いかがでしょうか？  
目につきやすくして、興味を持ってもらえれば区民課や学校に問い合わせ

が入り、各コミュニティに話を回すこともできます。こういう仕組みを作ることに窓口を広くして地域の人々の参加を促すこととなります。この頃、コミュニティが縮小してきたように感じられているので、なんとかして盛り上げていきたいです。

### 金竜小地区コミュニティ委員会

私達、金竜小地区コミュニティ委員会は昨年田口会長が就任して一年田口会長の下、運営委員8名で運営を行なっています。

金竜小学校は区が行う「スポーツ開放校」、「少年リーダー研修」の指定校にもなっていますが、我々のコミュニティ活動はこれら諸活動の曜日を除いた範囲で行われています。

委員会の年間の活動は主に、総会、校庭での盆踊り、コミュニティ祭り、暮れの大掃除、コミュニティ交流大会に加え10月に行われるPTAバザーにも参加しています。バザーでは主に野菜等の販売をしています。そのある青森県百石町から分けて頂いています。このように、学校との結びつきも大切にしています。

私達、運営委員会は区側と学校・地域住民との橋渡しになるように活動していきますので、コミュニティ委員会をよろしく願います。

運営委員会一同



# 東上野 地域 コミュニティ委員会

私達「AERO KIDS」は子供から大人までのダンスサークルです。大人は幼稚園や小学校からずっと続けているメンバーです。毎週月曜日に楽しくダンスしています。

ダンスやピクサー、ジャニーズなどの流行りの曲、聞いたことのある曲でダンスをしリズム感を養っています。またその他にも学校体育で必要なマット運動を取り入れ、年齢に合った基礎筋力等を養えるようにしています。マット運動には困らないですよ。コロナ禍が長く続き、思うように活動出来ない中で、いつか再スタートするであろうイベントに向けて練習を続けてきました。

令和5年7月、待ちに待った「下町七夕まつり」に参加し、たくさんの方の前でダンス発表出来ました。屋外で初めて発表するメンバーが多く暑さも厳しい中でしたが、たくさんの方前で発表した事を少し緊張はしましたがメンバーみんな楽しんでました。興味のある方、是非一緒にダンスしましょう。

AERO KIDS 室井 知美



年明け早々、東上野地域コミュニティ委員会「五月の夜の夢」(芸能研修発表会)出演の依頼がありました。

東上野三中町会「つくし会」は区シニアクラブ連合会(老人会)の下部組織で現在の会員登録者は40名です。シニア連合会の運営指針は

- ①仲間作りを通して友愛活動・生きがいと教養を高める活動
- ②地域の諸団体と共同して豊かな社会活動に取り組む。
- ③明るい長寿社会・健康福祉の向上に努める。

出演まで数回の練習日を設けましたが、つくし会には指揮者も歌の指導をする先生もありません。

選曲したCDを数回聴いて耳で覚えて声に出して唄う練習です。有志の皆さんと大いに恥を掻いて「今日も生きがいを感じて活動した実感を楽しまう」と言う事に致しました。：「老いの一日は千金に値する！」

※コロナウイルス対応として時間短縮・出演数制限策を取られたようですが、今回も常連の「大正琴サークル・城東相撲甚句会・チーム金子フオーケション・グ・粋流会太極拳・下町ケナー同好会」はプログラムを飾るに相応しい素晴らしい出演グループです。

特別出演落語家の桂 才賀師匠の「わが青春の海上自衛官・社会福祉話」【岸壁の母ならぬ・面会の母】は、チヨツト袖を絞らせるウイットな立体落語で大受けいたしました。

※地域に根差す、当委員会の「ふれあい」つながり・「ゆうあい」の基本活動の理念を尊重し、次回も老人会「つくし会」が参加出来れば幸いです。

三中つくし会 山下 辰男



令和6年2月の、台東区コミュニティ交流大会・浅草公会堂での参加・演技できることを楽しみにしています。  
運営委員長 北島 啓行